

2022 年度JKA補助事業(就労支援施設の建築)について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限 : 2024年1月31日(水)

・提出先 : p2022hyoka@keirin-autorace.or.jp

## 《2022年度JKA補助事業 自己評価書(2回目) 記入のしかた・記入例について》

\* **青字部分**は記入例です。記入の際、参考にしてください。

\* **水色箇所**は記入箇所、**ピンク色の項目**は選択肢の中からひとつを選択していただく項目、**緑色の項目**は複数選択可の選択項目となります。

\* 以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

### 2022年度自己評価書(2回目) 様式・記入例 ↓

### 【記入にあたっての注意点】

整理番号	2022P -	200	補助事業者名	社会福祉法人〇〇〇	補助事業名	就労支援施設の建築
------	---------	-----	--------	-----------	-------	-----------

  

2022年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)								
作成年月日	2024	年	1	月	25	日	作成者	競輪 花子

  

1. JKA補助 建築について(2022年度補助事業で整備された就労支援施設についてご記入ください。)

施設の種類	就労継続支援B型、生活介護施設		
建築施設名	〇〇〇作業所	構造	木造平屋建て
建築施設の所在地	東京都港区港南一丁目2番70号	延床面積	123.45 m <sup>2</sup>

  

建築した施設の形態 (選択してください)	① ○ 法人にとって初の就労支援施設 ○ 既存就労支援施設の老朽化のため建て替え ● 複数棟目の就労支援施設			
	※複数棟目の就労支援施設の場合 ⇒ 同種の既存施設有無 ○ 無 ● 有 → 2 棟目			

  

建築した施設の特長	障がいのある利用者の使い勝手を考慮した作業室と、食堂や更衣室、トイレなど日常生活においても快適な空間を兼ね備えた施設。 また、多目的室を設置し、周辺地域の方々に活用可能なスペースとして開放しているため地域住民との相互理解や連携に役立てられている。
-----------	--

◆整理番号、補助事業者名(法人名)を記入してください。

◆作成日、作成者を記入してください。

◆今回建築した就労支援施設の施設名を記入してください。また、その施設の所在地(住所)も記入してください。

◆「構造」欄には、今回建築した就労支援施設の建物の構造(例:木造平屋建て 等)を記入してください。  
「延床面積」欄には、今回建築した就労支援施設の延床面積(m<sup>2</sup>)を記入してください。  
(※小数点以下2桁まで。それ以降は四捨五入されます。)

◆① 施設の形態についてあてはまるものをひとつ選択してください。

◆② ①で「複数棟目の就労支援施設」を選択した場合は、今回建築した就労支援施設と同種の就労支援施設を所有している場合は「有」、ない場合は「無」を選択してください。

◆③ ①で「複数棟目の就労支援施設」を選択し、②で「有」を選択した場合、今回建築した就労支援施設がその種の就労支援施設として何棟目になるかを記入してください。

◆今回建築した就労支援施設の特長(特に優れている点やアピールポイントなど)を記入してください。

利用開始日	2023	年	3	月	1	日	①
-------	------	---	---	---	---	---	---

☆店舗を併設している場合は、ご記入ください。

運用月	就労支援施設の延べ利用者数(人)※1	就労支援施設の稼働日数※2	1日平均利用者数(※1/※2)	店舗の延べ来客数(人)※3	店舗営業日数※4	1日平均来客数(※3/※4)
1	2023年 1 月	②	③			
2	2023年 2 月			④	⑤	
3	2023年 3 月	238	20			
4	2023年 4 月	267	22			
5	2023年 5 月	235	19			
6	2023年 6 月	284	22			
7	2023年 7 月	275	21			
8	2023年 8 月	253	19			
9	2023年 9 月	261	20			
10	2023年10 月	316	22			
11	2023年11 月	292	20			
12	2023年12 月	271	19			
計	2,692	204	(月平均) 13.2	0	0	(月平均)

- ◆① 今回建築した就労支援施設の利用を開始した日にちを記入してください。
- ◆② 今回建築した就労支援施設を利用した月ごとの延べ人数を記入してください。(例:同一人物がその月に10日間利用した場合、10人とカウントする。)
- ◆③ 今回建築した就労支援施設を稼働させた日数を記入してください。
- ◆④ 今回建築した就労支援施設で製作した製品を取り扱う店舗を併設してる場合、その店舗の延べ来客数を記入してください。(例:同一のお客さんがその月に5回来店した場合、5とカウントする。)
- ◆⑤ 今回建築した就労支援施設で製作した製品を取り扱う店舗を併設している場合、その店舗の営業日数を記入してください。

★利用者の障がいの種類と障害程度区分、年齢区分について教えてください。(複数選択可)

<障害種類>	<障害程度区分>	<年齢区分>
<input checked="" type="checkbox"/> 身体障害	<input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 10代
<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 区分1	<input checked="" type="checkbox"/> 20代
<input type="checkbox"/> 精神障害	<input checked="" type="checkbox"/> 区分2	<input checked="" type="checkbox"/> 30代
	<input checked="" type="checkbox"/> 区分3	<input checked="" type="checkbox"/> 40代
	<input checked="" type="checkbox"/> 区分4	<input checked="" type="checkbox"/> 50代
	<input type="checkbox"/> 区分5	<input type="checkbox"/> 60代以上
	<input type="checkbox"/> 区分6	

★就労支援施設のサービスの種類を選択し、それぞれの定員及び利用者の月額工賃(賃金)について選択してください。(複数選択可)

サービスの種類	定員	月額工賃(賃金)
<input type="checkbox"/> 就労移行支援事業	名	円 ~ 円
<input type="checkbox"/> 就労継続支援A型事業	名	円 ~ 円
<input checked="" type="checkbox"/> 就労継続支援B型事業	10 名	4,500 円 ~ 20,000 円
<input checked="" type="checkbox"/> 生活介護事業	8 名	1,800 円 ~ 7,900 円

★施設整備前後の売上金額や、工賃の変化についてご記入ください。

売上が〇〇〇円から〇〇〇円に伸びたことで、平均工賃が月〇〇円から〇〇円に上がった。

◆複数選択可です。施設の利用者としてあてはまるものすべてにチェックをしてください。

- ◆① 複数選択可です。今回建築した就労支援施設で行っているサービスの種類についてあてはまるものすべてにチェックをしてください。
- ◆② ①でチェックをつけたサービスについて、「定員」と「月額工賃(賃金)」をそれぞれ記入してください。

◆今回建築した就労支援施設が開設する前と後で、売上金額や工賃についてどのような変化があったか、なるべく具体的に記入してください。

2. 以下の評価項目について、ご記入ください。

a. 個別の評価項目について、交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(3/5) 4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。  
○採点基準については、2022年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』自己評価スコアリングガイドをご参照ください。

(1) 受益者 (ニーズ)		これまで超過人員分は既存の遠方施設で受け入れざるを得なかったが、今回建築した就労支援施設で受け入れることができた。また、地域の養護学校の卒業生も受け入れることができ、新たな受け皿となることができた。			採点
(2) 事業内容		事業の 新規性			採点
		または 継続の 必要性			採点
		事業の 発展性			採点
(3) 達成 目標	事業の 成果・波及  ※自己評価1回 目から変化が あった場合に ご記入ください。	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
	施設利用者数 月平均13名	108%	施設開設当初は月平均利用者が12名程度だったが、現在は若干利用者数も増え、目標に達している。		4

b. 交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(2/5) 3. 補助事業実施の必要性(1)補助事業が最終的に目指すこと』の、達成状況をご記入ください。

障がい者の求める多様なニーズに応えるべく、利用者を一括的に1つの集団として捉えることをせず、1人1人の個性に目を向けたことにより、これまで以上に職員と利用者間で良好な人間関係が構築されつつある。また、建物の一部を多目的室として外部に開放したこと、これまで当法人の事業内容を知らなかった外部の人達にも当法人や障がいのある人について理解してもらうことができた。多目的室を定期的に使用してくれる方々や施設へのイベントへ参加してくれる方々も増え、地域連携も進んだ。これらから、最終的に目指す姿である障がい者が主体的にかつ、豊かに生きていける地域社会の実現に近づくことができた。

3. 就労支援施設で行っている活動についてご記入ください(就労支援施設の活動内容・活動日、店舗の営業日時、製品や商品の種類、参加人数等、施設整備前の状況及び当初計画と照らし、実際に行っている活動を具体的に記入ください)。

基本:月～金 9:00～16:00  
〇〇の製造(毎日4～6名)、シール張り作業(毎日2～3名)、袋詰め作業(毎日2～4名)、農作業(随時2名)等  
当初の計画通り、今回建築した就労支援施設では、新たに〇〇の製造を行うことができるようになり、作業の種類も増えた。

4. この施設に対する施設利用者及び施設職員の声をご記入ください。

利用者:きれいな建物でうれしい。食堂ができて、ゆっくり給食が食べられるようになった。静かな環境で作業ができるようになった。  
職員:食堂と作業スペースが分かれているため、利用者がゆったりと過ごせている。ゆっくりではあるが利用者の一歩ずつ上達していく姿を見ることができてうれしい。利用者の方も楽しそうで充実した様子。

5. この施設に対する地域の方やお客様の声をご記入ください。

利用者の方が頑張って掃除をしている姿や、元気に挨拶してくれる姿に好感がもてる。  
多目的室もきれいで使いやすい。施設で行われる行事に参加するのも楽しみ。

6. 利用者の居住範囲についてご記入ください。

市町村	人数	市町村	人数
〇〇〇市	12人	①	人
△△△市	4人		人
	人		人
	人		人

☆施設を中心として 15 km範囲 ②

☆利用者が施設に通うための交通手段をご記入ください。

施設送迎用車両による送迎、自家用車による送迎、徒歩 ③

◆1回目の自己評価の際と同様に、事前計画／自己評価書(3/5)の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。  
採点欄については、別シートのスコアリングガイドを参照の上、採点してください。

◆(3)達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後(現在)の状況について記入してください。  
!! 注意 !! 達成状況のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書(3/5)記入の内容と比較して算出してください。

◆事前計画／自己評価書(2/5)の「最終的に目指すこと」に対して、現時点での達成状況を記入してください。

◆建築前の状況や当初の計画と現状を照らし合わせ、今回建築した就労支援施設で行っている活動内容などを具体的に記入してください。

◆今回建築した就労支援施設についての感想など、施設利用者及び施設職員の声を記入してください。

◆今回建築した就労支援施設やそれに併設する店舗についての感想など、地域の方やお客様の声を記入してください。

◆① 今回建築した就労支援施設を利用する利用者がどの市町村から何名来ているか記入してください。  
◆② 今回建築した就労支援施設を利用する利用者の居住範囲が施設から半径何キロ範囲か記入してください。  
◆③ 利用者が今回建築した就労支援施設に通う際の交通手段を記入してください。

7. 主な取引先についてご記入ください。

業種	地区(市町村)	業種	地区(市町村)	業種	地区(市町村)
物販	〇〇〇市	福祉施設	〇〇〇市		
物販	〇〇〇市				
食品	〇〇〇市				
学校	〇〇〇市				

◆今回建築した就労支援施設で作業を受注した際の発注元や、製作した製品を取り扱っている主な取引先等について、業種と地区(市町村名)を記入してください。

8. 施設のオープンについて、ホームページ・新聞等に公表した実績を教えてください(自己評価書の「事業成果の公表の方法」により成果を公表したもの、また、それ以外でマスコミ等の取材を受けた実績等があれば、ご記入ください)。

- ・当法人ホームページ及び当法人発行の機関誌に掲載。
- ・〇〇新聞(2023年〇月〇日)に掲載。

◆今回建築した就労支援施設について、新聞や雑誌、テレビやラジオ等メディアで紹介された事例があれば記入してください。特になければ「特になし」と記入してください。

9. この施設について客観的な立場から論評できる人(法人の監事、行政の福祉担当者、大学の先生等の有識者等)のコメントを自由にご記入ください(できるだけ2名以上、論評者及びコメントを記載してください)。

障がい者の就労場所が不足する地域で、新しい受け入れ先となっており、また、地域に開かれた福祉の拠点として大きな役割を果たしている。施設を訪問した際、落ち着いた心地よい雰囲気を感じられ、この雰囲気、空間であれば利用者の方々が安心して働いたり過ごすことができると感じた。(当法人監事)

生活保護事業ではミュージックケアなども取り入れており、また、就労支援会計を設け、利用者の工資保障ができています。多目的室を設置し、地域住民に利用してもらっているが、今後も多く利用してもらい地域の人々が集う場所となっていくことを期待している。(〇〇市福祉事業課 担当者)

◆施設の職員等ではなく、法人の監事や行政の福祉担当者、大学の先生等の有識者等のコメントを記入してください。

10. 就労支援施設を運営するにあたり、施設独自の課題があればご記入ください。

今まで以上に利用者の方々の様々な特性に応えることができる体制を整えることも必要となってくるが、資金面での課題も多い。

◆今回建築した就労支援施設の運用についての課題があれば記入してください。

11. 就労支援施設を取り巻く状況や課題をお聞かせください。

全国的にみると就労支援施設の数としては増えているが、都道府県によってばらつきがあり、数が少ない地域などは障がい者の雇用の機会が限られてしまう。また、工資の大幅アップにつなげることも難しいのが現状である。福祉業界全体に言えることだが、職員の人材不足が深刻であり、新規事業などを行う際の人材の確保も課題となっている。

◆就労支援施設の現状や課題、また、福祉・介護業界等での問題点や課題等を記入してください。なお、国の施策、それに対する影響等がありましたら併せて記入してください。

12. 他に就労支援施設をお持ちの場合、その就労支援施設の活動内容についてご記入ください。

今回建築した就労支援施設以外に、〇〇〇就労支援施設があり、パン・焼き菓子などの製造販売を行っている。

◆今回建築した就労支援施設以外にも就労支援施設を所有している場合、その就労支援施設の活動内容を記入してください。

13. その他、施設に関する特記事項、上記1～12についての補足やJKAに対するご要望等ございましたらご自由にご記入ください。

障がいがあっても環境が整えば色々な力が身についてくる。障がい者の力を引き出せるような環境を作っていく必要があると思われるが、資金面での課題が大きいため、今後も補助を続けてほしい。

◆この自己評価の補足や、JKAに対する要望等を記入してください。

以上となります。 ご協力ありがとうございました。 p2022hyoka@keirin-autorace.or.jp までご送信ください。

【建築(就労支援施設)】